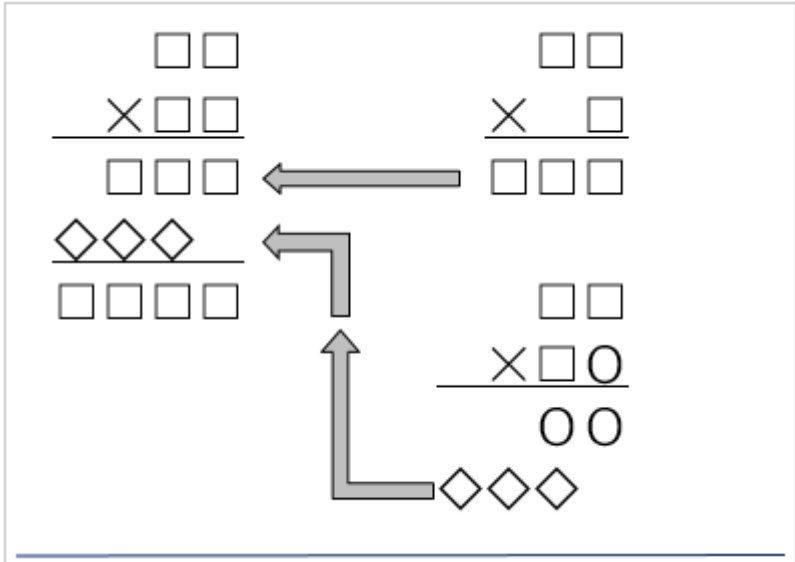


| 教材名 | 筆算シート（2けた）×（2けた） | 紹介者 | 上地小学校 |
|----------|--|-----|-------|
| |  <p style="text-align: center;">< （2けた）×（2けた）の筆算を解くための筆算シート ></p> | | |
| 教材の紹介 | <ul style="list-style-type: none"> ・（2けた）×（2けた）の筆算を行うと、かける数の一の位の計算とかける数の十の位の計算が混ざってしまい、正しい答えを導くことが難しい。そこで、段階的に筆算を進めていくことで、かけ算の理解を深めると共に正しい計算を身につけさせる教材です。 ・本時までには、（2けた）×（1けた）の筆算と「2けたをかけるかけ算の筆算（何十をかけるかけ算）」は正確に計算できるようにしておく。 ・通常では、「何十をかけるかけ算」は（2けた）×（1けた）の計算を暗算で行い、次に10倍して答えを導くが、筆算で指導する。 ・「何十をかけるかけ算」を筆算で指導する際には、上記の筆算シートの下段に示されているように、0を記入し、位の位置を注意しながら、（2けた）×（1けた）の筆算と同様に指導する。 | | |
| 製作・入手方法等 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの実態に応じて、Wordで作成します。 | | |
| 子どもの反応等 | <ul style="list-style-type: none"> ・（2けた）×（2けた）の筆算の、かける数の一の位の計算とかける数の十の位の計算を分けたことで、それぞれの計算を正しく行うことができ、その数字の位を意識しながら筆算でたし算を行うことで正確に計算できるようになった。 ・筆算シートを使うことで、意欲的に計算に取り組み、集中できる時間が増えた。 ・計算ができるようになってからも、筆算シートを机に置いておくことで安心して問題に取り組むことができていた。また、間違えたときには、筆算シートで解いた答えと自分の解法を比較しながら確認する姿も見られた。 | | |

| | |
|--|--|
| | |
|--|--|